

## 創造アイデアロボットコンテスト運営要項

### 1、目的

- (1) 中学校技術・家庭科で学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作を行い、その成果の発表の場とするとともに、知識や技能の向上を図る。
- (2) コンテストは一つの授業の場として、参加者が互いに工夫点や機能性、構造などを学びあえるようにする。また、ものづくりに取り組んできた全国の中学生の交流の場とし、得点至上主義に走らず、発想や製作技能・努力を評価し合う。

### 2、各部門について

- (1) 基礎部門：「はじめてのお使い2016」  
歩行型ロボットによる競技。1チームは2名まで。使用するモータは2つまで。
- (2) 活用部門：「積んで、回して、Pコップ」  
ロボットによりスポットを取り合うゲーム。1チーム登録2～4人、出場者は操作1名、アシスタント1名。使用するモータは4つまで。
- (3) 応用部門：「The 綱引2」  
9本のロープ2本の棒を引き合う競技。1チーム登録2～6名、そのうち操作2名まで、アシスタント2人まで。使用するモータは6つまで。
- (4) 動画部門：審査委員による審査後、関東へ推薦する。  
\* (1)～(3)は関東大会へ3チーム推薦する。  
\* 詳しいルールなどは「第17回 全国中学生創造ものづくり教育フェア 創造アイデアロボットコンテスト」用のルールに基づきます。ホームページをご覧ください→「<http://ajgika.ne.jp/~robo>」  
\* 県フェアでは、PRタイムの代わりに、競技終了後ロボットを見せ合う時間を設けます。  
\* 各部門の出場数は、1校4チームまでとします。

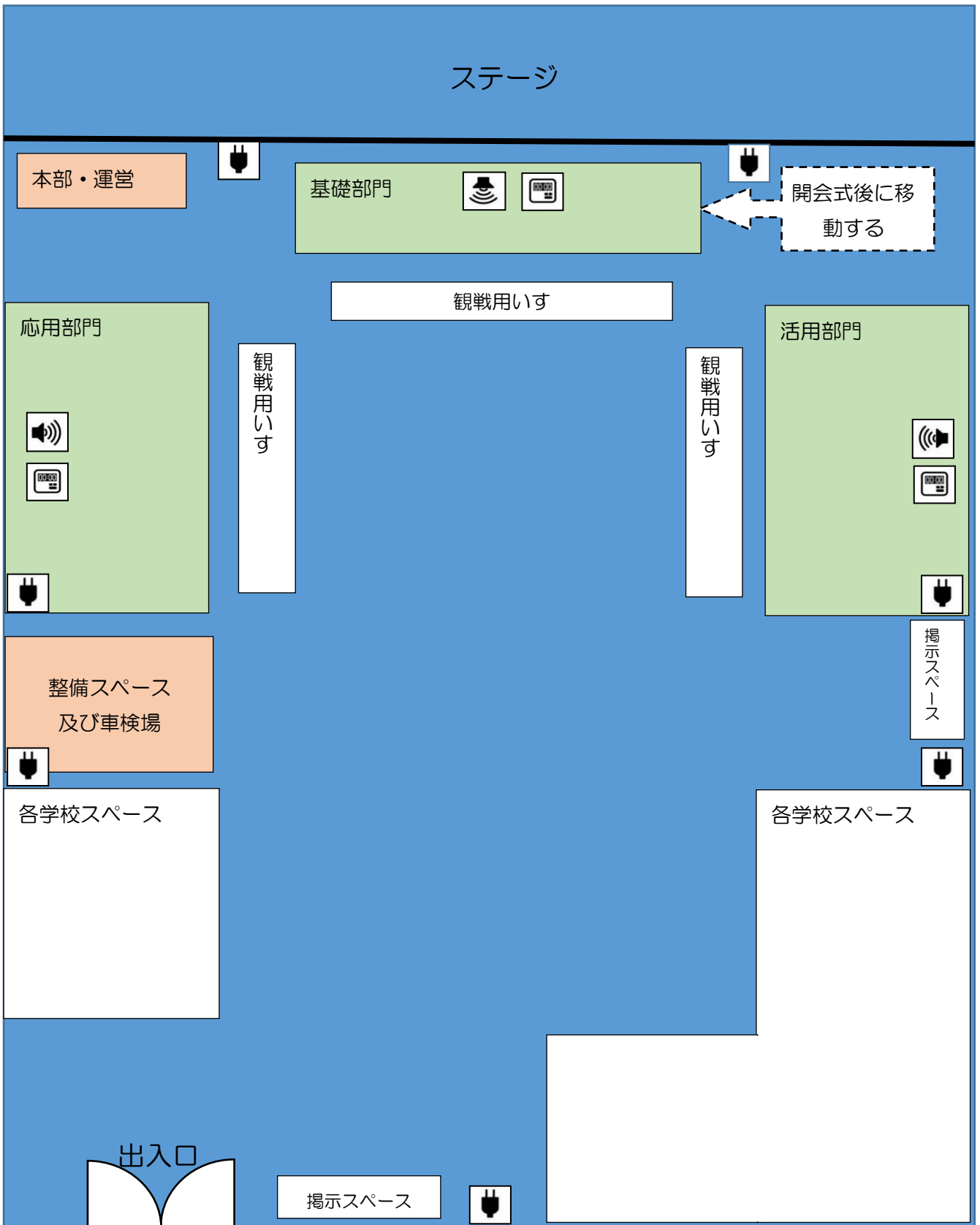
### 4、運営方法について

- (1) 1ゲームの運営時間（出入りを含めた時間）  
基礎6分、活用6分、応用10分
- (2) 進行
  - ・各部門2コート、計6コートで実施する。
  - ・車検は午前、午後の2回行い、準備が出来次第は始める。
  - ・決勝トーナメントは基礎8チーム、活用16チーム、応用8チーム進出予定。
- (3) その他
  - ・生徒控え室は作らない。
  - ・物品の搬入・搬出は確実にあて先を確認する。
  - ・はんだごての取り扱いについて徹底する。
  - ・充電、カメラ撮影などのために会場のコンセントを使用することはできない。

## ◇「ロボコン」部門 当日の流れ

8 : 0 0	<p><b>受付開始</b></p> <p>引率教員による一括受付。 参加費500円。 その後、出場者は、体育館へ荷物を持って移動し所定の割り当て場所に荷物を置きます。</p>
8 : 3 0	<p><b>開会式（体育館）</b></p>
9 : 0 0	<p><b>会場準備</b> コートや観客席の設置を行います。</p>
9 : 1 5	<p><b>審判・顧問会議、キャプテン会議</b></p>
9 : 4 5	<p><b>車検開始（合格したチームはゼッケンを受け取る）</b></p>
1 0 : 1 5	<p><b>生徒ルール確認</b></p>
1 0 : 3 0	<p><b>競技開始</b> 基礎部門（13チーム：7校） 活用部門（30チーム：14校） 応用部門（14チーム：6校）</p>
1 2 : 3 0	<p><b>昼食（予選終了チームから順次）</b></p>
1 3 : 1 0	<p>決勝トーナメント抽選会 <b>車検開始</b></p>
1 3 : 4 0	<p><b>決勝トーナメント</b></p>
1 5 : 2 0	<p><b>競技終了</b></p>
1 5 : 3 0	<p><b>審査及びロボット公開</b> <u>選手は出場ロボットとゼッケンを活用部門スペースへ</u></p> <p>審査委員会会議（各賞決定、関東推薦） ～ 同時進行にて、会場の撤収作業 ～</p>
1 6 : 2 0	<p><b>閉会式・表彰式</b></p> <p>司会：山科 1. 開会の言葉（山科） 2. 結果発表・表彰（上野・松山） 3. 講評（松山） 5. 諸連絡（山科） 6. 閉式のことば（山科）</p> <p>関東大会出場チームは連絡があるので残っててください。</p>
1 6 : 5 0	<p><b>ロボコン、撤収完了</b></p>

創造アイデアロボットコンテスト 会場図 (案)



☐ : コンセント    ☐ : 放送機器    ☐ : デジタイマー

H28年度 ロボコン大会運営 役割一覧表

担 当		氏 名	所 属	仕事内容
運営責任者		松山 雅彦	副部長	運営責任者
全体運営		上野 勝己	事務局	大会運営・進行
全体運営		山科 隆典	事務局	大会運営・進行
審査委員長		小倉 修	県教育センター指導主事	審査
審査委員 (映像部門を含む)		小島 一浩	清川村立緑中学校校長	
			次期開催地選出	
		杉本 祐一	副部長	
進行		上野 勝己	事務局	競技進行指示・キャプテン会議
審判長		大橋 貴弘	横須賀市立鴨居中学校	審判会議運営・競技進行
副審判長		内田 修平	横浜市立希望が丘中学校	
記録		○山科 隆典	事務局	競技結果の集計・競技記録受取 決勝トーナメント組み合わせ
		井上 知子	鎌倉市立深沢中学校	
		鈴木 秀明	足柄市立箱根中学校	
		村上 なみ	川崎市立野川中学校	
アナウンス		○矢野 智美	松田町立松田中学校	進行に合わせて放送
		清沢 素雅子	横須賀市立池上中学校	
		矢坂 健太郎	川崎市立有馬中学校	
		土門 哲也	愛川町立愛川東中学校	
会 場 運 営	車検担当	○菊池 貴大	相模原市立麻溝台中学校	午前・午後の車検
		嘉山 英明	横須賀市立追浜中学校	
		田中 伸英	川崎市立枳形中学校	
	会場警備	○平田 成就	厚木市立萩野中学校	会場巡回指導 整備場所設置
		尾崎 誠	厚木市立萩野中学校	
		山口 三季	相模原市立新町中学校	
		柴田 来実	相模原市立上溝南中学校	
		杉山 達佳	厚木市立睦合東中学校	
		池田 悠士	相模原市立新町中学校	

会場 運営	計時	○牧瀬 信幸	平塚市立横内中学校	競技時間計測
		上野 忠章	川崎市立高津中学校	
		團野 隆志	川崎市立住吉中学校	
	召集誘導	○平島 慎一	横浜市立岡野中学校	競技者の召集・誘導
		下平 敦生	厚木市立玉川中学校	
		武藤 樹	厚木市立林中学校	

競技審判

担 当		氏 名	所 属	仕事内容		
競技 運営	基 礎	A	○審判	長谷田 修	横須賀市立北下浦中学校	競技審判 基礎部門は時間計測
			審判	平野 和浩	平塚市立大洋中学校	
			審判	菊池 貴大	相模原市立麻溝台中学校	
		B	○審判	大橋 貴弘	横須賀市立鴨居中学校	
			審判	島田 直也	横須賀市立公郷中学校	
			審判	佐久川 仁	茅ヶ崎市立浜須賀中学校	
	活 用	A	○審判	松岡 悠樹	横須賀市立常葉中学校	
			審判	清水 大樹	平塚市立金旭中学校	
			審判	富山 博慶	川崎市立宮前平中学校	
		B	○審判	鈴木 由期雄	横須賀市立久里浜中学校	
			審判	森 要	平塚市立江陽中学校	
			審判	中村 一太	横浜市立浦島丘中学校	
	応 用	A	○審判	内田 修平	横浜市立希望が丘中学校	
			審判	山下 貴之	横須賀市立浦賀中学校	
			審判	小林 直久	川崎市立中野島中学校	
B		○審判	石井 伸一	横須賀市長井笠中学校		
		審判	市川 由香	横須賀市立衣笠中学校		
		審判	川島 平太	平塚市立金旭中学校		